

日本エム・イー学会平成13年度第2回理事会議事録

日時：平成13年7月27日（金） 13：30～15：30

会場：学士会分館6号室

<出席者>

会 長：佐藤俊輔

副会長：上野照剛，辻 隆之

理 事：安藤謙二，稲田 紘，荻野和郎，梶谷文彦，神谷 瞭，楠岡英雄，佐藤正明，辻岡克彦，土肥健純
仁田新一，堀 正二，南谷晴之，山本克之

監 事：千田彰一，戸川達男

大会長：鳥脇純一郎（第40回），内山明彦（第15回秋季）

特別委員長：小野哲章（CE）

支部長：木竜 徹，田中邦雄，村上輝夫（代・中村政俊）

幹 事：牧川方昭，野村泰伸

事務局：高柳 建

<欠席者>

理 事：菊地 眞，林紘三郎，保坂栄弘，星宮 望

1. 理事会成立が確認された。
2. 平成13年度第1回理事会議事録（13-2-2）が承認された。
3. 会員：入退会希望者リストが回覧され，個人会員に関して全件を承認した。この結果，正会員67名減で3,555名，準会員17名増で311名となった。維持会員の数は，変動なしで36社58口である。維持会員退会願は保留（13-2-3-②）。
4. 総務：楠岡理事より，評議員追加に関する経緯が説明され，承認された。尚，理事・監事に関しては欠員が生じた場合の対応が定款にあるのに対して，評議員に関してはないが，当面は理事会で決定することとした。
5. 論文誌：学会論文誌英文名称変更に関して名称案 **Japanese Journal of Biomedical Engineering** が提出されたが，岡田論文誌委員長欠席のため継続審議とした。9～10月までには決定する予定（13-2-5）。
6. 会員：辻岡理事より，CD-ROMによる新会員名簿作成に関連して，名住所不明の学会会員に対する処置案が提案された。案1. 住所不明者除名，案2. 会員名簿に住所不明者欄を別枠で設けて掲載，案3. 通常会員と同様に，ただし住所不明を明記のうえ掲載，案4. 何の対処もしない。検討の結果，理事・支部長に不明者名簿を送り，再度（8月一杯）住所確認を行う努力をする。CD名簿作成は9月中旬まで遅らせる。（13-2-6）
7. 総務：楠岡理事より，第16回秋季大会の開催地を九州大学医学部医療情報部（野瀬先生）に依頼するとの案が出された。佐藤会長から，この大会を第2回医療情報連合大会，第3回医療情報学会とジョイント開催にしても良いと考えている旨が示された。九州支部（中村先生・今回代理村上先生）を通じて検討・話を進めてもらうこととなった。
8. ME 技術教育：稲田理事より，2001年6月17日に第7回第1種ME技術実力検定試験が行われ，受験者数は235名，内69名の試験合格者が報告され，承認された（13-2-8）。
9. 広報：赤澤広報委員長に代わり楠岡理事より，広報委員会委員案が提出され承認された（13-2-9-①（注）以下各種委員会委員案に共通）。学会ホームページ管理委託会社選定は広報委員会に一任することが承認された（13-2-9-②）。また，学会ホームページから入会申し込み書がダウンロードできるようになったことが報告された。入会申し込みの際に推薦者が必要だが，略歴書を提出すれば推薦者がなくても受理することとした（13-2-9-③）。戸川監事から，将来的にはWeb上から入会申し込みが可能になるようにすべきとの提案があった。この場合推薦者印が使用できないので，推薦者の代わりに略歴（含む論文業績）等を記入させるなどの案が挙げられたが，論文業績等があることを入会の条件のように扱うのは適切でないとの意見がだされ，今後の検討課題とされた。
10. BME誌編集：堀理事から，BME誌編集委員会委員案が提出され承認された。ME分野の若手啓蒙を目的とするBME誌の学生特別企画が承認された。堀理事より，特別企画号の概要案が紹介され，発刊後は書店

で販売したい旨の考えが示された。ホームページでPDF形式のファイルを公開する案（稲田理事）、予算的見込み（堀理事、事務局）、企画内容に関する意見（戸川監事）等が検討された（13-2-10-②）。また、堀理事から、BME誌の会員への郵送費は、現在第3種郵便物（商業雑誌）の取り扱いがされているが、今後より安価な第4種郵便物（学術雑誌）に変更したいとの考えが示され、郵便局との交渉を編集委員会・庶務に一任することが承認された。さらに、BME誌表紙の変更（日本ME学会雑誌→日本エム・イー学会雑誌、BioMedical Engineering→削除、JJME→Journal of Biomedical Engineering、背表紙：日本ME学会→日本エム・イー学会）を来年の1月から行うことが承認された。

- 1 1. 国際：国際委員会委員案が承認された。
- 1 2. ME 研究推進：ME 研究推進委員会委員が承認された。梶谷理事がニュージーランドで開催されるフィジオーム関連の会議に出席することが報告された。神谷理事からフィジオームに関連してエム・イー学会が他学会と協調していく必要性が述べられ、梶谷理事からITとバイオを結びつけるのはエム・イーであるとの認識が示された。
- 1 3. 国際誌：国際誌編集委員会委員案が承認された。
- 1 4. CE：クリニカルエンジニアリング委員会委員案が承認された。小野CE特別委員長からCE委員会の今後の活動予定（臨床ME認定士の講習会開催、同カリキュラムの大綱化を学会として提案する）が説明された。
- 1 5. 医用研：医用工学研究所設立準備委員会委員案が承認された（エム・イー学会以外の人も入っていることも承認された）。上野理事から、この委員の人は学術会議第5部委員とほぼ共通であることが説明された。また、この委員会の活動に関連して、上野理事より、21世紀医用技術研究開発機構の提案をしていること（13-2-15-②）、南谷理事より、全国の大学におけるME関連のカリキュラムを調査中であることなどが報告された。
- 1 6. 教育：教育委員会委員案が承認された。
- 1 7. 選奨：選奨各賞選定委員会委員案が承認された。
- 1 8. 第40回大会：鳥脇第40回大会長から、大会開催報告がなされた。演題数は一般口頭が314件、大会参加者数は944名であった。（追加資料1）
- 1 9. 第15回秋季大会：内山大会長から特別講演の講演者予定などを含めて準備状況が報告された。（追加資料2）
- 2 0. 第41回大会：高橋大会長は欠席であるが、資料が配布され準備が進められていることが簡単に報告された。テーマは「Bio-Intelligence 生命知の時代を迎えて」である。（13-2-20）
- 2 1. その他：九州工業大学元教授磯 泰行先生を顧問から名誉会員に推薦することが承認された。

（配布資料）

平成13年度第2回理事会議題

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| 13-2-2 | 平成13年度第1回理事会議事録（案） |
| 13-2-3-② | 維持会員退会願い |
| 13-2-5 | 「医用電子と生体工学」の新しい英文名について |
| 13-2-6 | 日本エム・イー学会・住所不明会員の取り扱いについて |
| 13-2-8 | 第7回第1種ME技術実力検定試験実施報告 |
| 13-2-9-① | 日本エム・イー学会各種委員会委員案 |
| 13-2-9-② | 日本エム・イー学会・ホームページ管理委託に関する見積書 |
| 13-2-9-③ | 社団法人日本エム・イー学会入会申込書 |
| 13-2-10-② | BME学生特別号企画原案 |
| 13-2-15-② | 21世紀医用技術研究開発機構の提案 |
| 13-2-20 | 第41回日本エム・イー学会大会予告（第2報） |
| 追加資料1 | 第40回（2001）日本エム・イー学会大会基礎データ |
| 追加資料2 | 第15回日本エム・イー学会秋季大会の準備状況 |